

一般質問

那須 英二 議員 日本共産党 弥富市議団

子どもの遊び場、公園のない地域に設置を

問

前ヶ須地区は、子どもが多い地域にもかかわらず、

の基本計画で適正配置を計画していきたい。

答 民生部長

近くに公園や子どもの遊び場がなく、道路で遊ばざるを得ない状況が目につく。

定期的に点検し安全性を確認している。

要望があるが市の考えは。

緊急を要するものから修繕を行い、けがや危険性のある場合は、使用禁止などの措置も行う。

(2) 現存の公園や子どもの遊び場の中には、遊具が古くなり危険な状態のものが

あるが遊具の管理はどのようとしているのか。

(3) 老朽化で多額な費用を要する具体的なものとは。

緑の基本計画の中で適正配置を計画していただきたい

答 開発部長

(1) 前ヶ須周辺地区には、子どもの遊び場、公園が設置されていない。

現状の公園などの配置を踏まえ、今後策定予定の緑

用水路の悪臭対策に浄化剤を

問

(1) 用水路にドラム缶や車椅子が落ちているところがあるが、用水路の管理はどうにしているのか。

(2) 冬場でもにおいが気になるところがあるが対策は。

(3) 以前、三宮議員の質問で、鯛浦の自治会連合会で、バクテリアの粉を各家庭に配布し、年に1回流しなどから流すだけで、水が浄化された、悪臭がなくなつた

という発言があった。

全市的に、特に悪臭が出る地域は必ず行っていただきたい。

合併浄化槽や単独浄化槽など、まだ下水に接続をしていない家庭や地域に配り悪臭対策をしてはどうか。

答 開発部長

(3) 浄化材の活動は、27年度、鯛浦の7地区で環境浄化材を散布しているので、もう少し検証していきたい。

答 開発部長

(3) ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曽川下流の水資源公團に一定期間、

どを行っている。

(2) 市全域が低地で自然排水ができないため、流れの悪い箇所や悪臭発生の箇所など全て把握できしない状況で、市民からの通報により悪臭箇所を把握している。

悪臭対策は、流れが悪い箇所の水路底の修繕やヘドロの堆積が多い箇所はしゅんせつで対応している。

うな処理をされてきたか。

(2) そうした建物はどのような処理をされてきたか。

専門家を含めて空き家対策協議会を発足

問

(1) 倒壊したままの空き家などが目につくが、状況や建物の存在、また場所などを把握しているか。

(2) 特に危険なものは、所有者に連絡しているが所有者が不明の場合、なかなか空き家対策が進まない状況が今でも続いている。

が今でも続いている。

答 開発部長

(1) 24年度、区長・区長補助員の協力のもと、空き家の実態調査を実施した。

28年度に再度調査し、データ作成を行う予定である。

(2) 特に危険なものは、所有者に連絡しているが所有者が不明の場合、なかなか空き家対策が進まない状況が今でも続いている。

が今でも続いている。

答 開發部長

(2) 昨年5月特別措置法が制定され空き家に対し指導、勧告、命令、代執行が市町村単位で実施可能となつた。

本市も、専門家を含めた

空き家対策の協議会を発足していきたい。

空き家対策の協議会を発足していきたい。